

アーク

杉本正・著

ブラックスク・オーケストラ

神奈川ファイルの運営の
健全化のために

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

不当解雇事件とは

2012年4月11日、神奈川フィルハーモニー管弦楽団は楽団で約30年にわたり在籍し、聴衆に親しまれている2人の団員、コントラバス奏者の杉本正さんと布施木憲次さんに対して、突然解雇通告をしました。

2人は神奈川県第3セクター職員などで構成する県公務公共一般労働組合神奈川フィルハーモニー管弦楽団分会の組合員です。楽団は、職場の労働条件改善や民主的な楽団づくりのために活動してきた2人を嫌悪し、あれこれと口実を設け解雇しました。

楽団は、解雇理由として、演奏技術や演奏態度について指揮者からの指摘があったと主張しています。しかし、楽団の主張は、具体性を欠き、指揮者の指摘があったとする点について証拠も極めて薄弱です。解雇理由として「演奏技術が低い」ことを挙げておきながら、その解雇を決めた評価委員会には音楽のプロがいないことも明らかにしています。

2人は、解雇された後、横浜地方裁判所に仮処分申立を行いました。横浜地方裁判所、東京高等裁判所のいずれにおいても、仮処分の申立を却下する不当な決定を受けました。楽団が、楽団の要求に素直に応じる労働組合を望み、強すぎる県公務公共一般労働組合は困ると考えていたことが明らかになりました。

県労働委員会は、2014年2月28日に結審し、春頃には命令が出されます。8月1日には横浜地裁へ提訴を行い、裁判も始まっています。

この間、地元神奈川をはじめ全国の仲間からご支援をいただき、署名は、1万筆7千筆を超え、会員も千名を超えています。二人を職場に戻し、楽団側の正常な運営を求め、神奈川フィルをこれからも一層県民から親しまれ県民の宝となるような楽団にしていきたいと考えています。この運動の輪をさらに広めてくださいますよう、ご支援ご協力をお願いします。

杉本さん布施木さんの解雇を撤回させ、神奈フィルを良くする会

2013年12月1日

事務局長 蓮池幸雄

杉本正さんのこと

私は五十年余にわたり音楽活動が続けて来たが、今まで神奈川フィルとは余り縁がなく、従って団員のコントラバス奏者・杉本正さんの存在も知らなかった。

一年ほど前、杉本さんが神奈川フィルを解雇された事を知らされ、同じ横浜に住む音楽家の端くれとして、働き盛りの演奏家が、なぜ解雇されたのかに関心を抱く様になった。

その後、実際に杉本さんの演奏に幾度か接する中で、杉本さんが一般的なオーケストラの奏者として力量不足とは思えず、解雇した楽団側の論拠が、音楽的に説得性のない抽象的な表現に終始していることも分かった。彼が解雇処分を受けたのは、ひとえに組合活動のリーダーとして、楽団理事会の意に添わぬ事が最大の解雇理由ではないのか？と云う疑念が湧いて来た。或る演奏会の帰途、小学生時代杉本さんを良く知ると云う女性に声をかけられ、「彼は責任感

が強いから」との言葉を聞き、その思いは一層強くなった。

今回まとめられたこの冊子は「新かながわ」紙(週刊)に連載されたものだそうだが、我々部外者にも、神奈川フィルの黎明期から今日に至る歴史を俯瞰する事が出来、参考資料としても意味がある。

そのような中から、三十年も演奏を続けて来た二人のコントラバス奏者が(二人とも組合幹部)、なぜ、同時に突然(理事会にとっては計画的に)解雇処分を受けたのかも透けて見えて来る。

経済的に逼迫して来ると、先ず切り捨てられるのが経済的弱者と文化である。文化を一定のレベルに維持するには、それ相当の資金を要するのも事実。しかし、人間はパンのみに依って生きる事の出来ないのも確かな事。オーケストラとは何か？を考える意味でも本書の一読をお勧めしたい。

作曲家 安藤久義

続きをご覧になる場合は、下記までお問い合わせください（1冊 500円以上で頒布します）

神奈川県職員労働組合総連合書記局

神奈川県横浜市中区日本大通1

神奈川県庁本庁舎6階

Tel 045-212-3179

杉本 正



Profile

1976年神奈川県立希望ヶ丘高校を卒業し、武蔵野音楽大学器楽科でコントラバスを専攻する。コントラバスを松野茂、檜山薫、ロニー・スラットフォード、ブラドリー・オブランドの各氏に師事。1983年神奈川フィルハーモニー管弦楽団に入団。現在は神奈川県公務員組合一般労働組合副委員長を務める。

神奈川フィルに30年間務めて、その間のオーケストラの変容を見てきました。一時期は日本のオーケストラの中でも最も期待できるオーケストラとして、都内のオーケストラから移籍してくる人もいました。しかし、それがまさかこの数年で、全国最低ランクのオーケストラに転落するとは誰が想像したでしょう。輝かしい神奈川フィル復活のためには、まずは不当な解雇を撤回させ、県民を欺き楽員から搾取する、経営のブラック体質を払拭させるのが第一だと切実に感じました。

布施木 憲次



Profile

1973年東京都立明正高等学校卒業。1972年10月斎藤秀雄先生の門をたたく。コントラバスを始める。1973年桐朋学園大学ディプロマコース入科。1974年桐朋学園大学音楽学部演奏学科コントラバス科入学。1979年同校卒業。1981年神奈川フィルハーモニー管弦楽団入団。神奈川県公務員組合一般労働組合執行委員を務める。

神奈フィルに関わって約36年、自分の人生の半分以上。入団当時は仕事も少なく、他のオーケストラのエキストラで演奏させて貰っていました。色々なオケのコントラバス奏者の奏法や技を教えて貰い、又、盗ませて貰いました。そういう中でオーケストラの中で大事な事の一つが演奏家の自主性という事も学びました。今回の解雇はそれを奪うもので、オーケストラの健全な発展を阻害するもので、絶対許す事はできません。どうか皆様のご支援とご協力を、お願いします。

ブラック・オーケストラ

神奈川フィルの運営の健全化のために

発行日	2013年12月1日
著者	杉本 正
発行所	杉本さん布施木さんの解雇を撤回させ、神奈フィルを良くする会 〒220-0031 横浜市西区宮崎町 25 市従会館 3F 神奈川自治労連気付 Tel 045-212-3179 Fax 045-212-3178 URL http://www.kanaphil-yoku.sakura.ne.jp/
デザイン	RITZ 大西文子
印刷所	株式会社神奈川機関紙印刷所 (きかんし印刷)

本誌は「新かながわ」紙上のコラム「自由の窓」に2012年12月16日から2013年6月2日まで連載されたものを一部修正したものです。